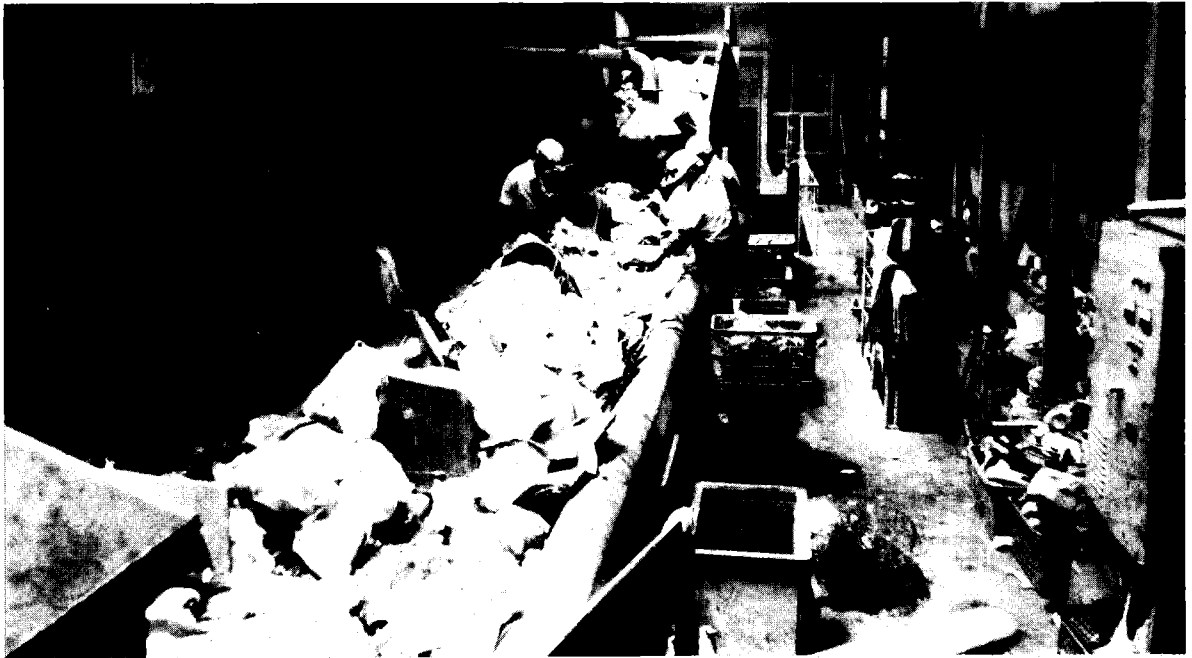


柳泉園NEWS

りゅうせんえんニュース

1988.9.1 AUTUMN VOL. 10



柳泉園組合粗大ごみ処理施設

“ごみの減量化にご協力を、

柳泉園組合管理者 都丸哲也

昨今の円高基調を受けて我が国の産業構造をはじめとして、社会全体のしくみが大巾に変化しつつあります。

このことは、毎日排出される“ごみ”が如実に語っており、当組合においてもその処理に頭を痛めているところです。

我々の手に入る製品は、快適な生活、利便性への要求からか、ほとんどが使い捨てとなっております。「買って、使って、捨ててしまう」という消費パターンを繰り返すならば、今後のエネルギーや資源の損失は大きく、生活環境におよぼす影響は想像以上に悪化するものと思われまます。

一般に一度使われたり、捨てられた製品は、廃棄物の回収が保健上の要請から始まったため、すでに使われた物は、汚いものだと思ってしまうものです。ところが、市場に出廻っている製品は、一度使って捨ててしまうには、もったいない価値のあるものば

かりです。

皆様もご承知のとおり包装に使われている紙、清涼飲料におけるアルミニウムかん、ガラスびんはもとより、古新聞、古雑誌など、これらは、再生システムによって、再生利用できるものばかりです。又、リサイクル可能な、物質“ごみ”の利用は、資源の需要の節減につながり、木材、石油、金属等にかかるエネルギー消費量を減らすとともに、ここから発生する水と大気の汚染を少なくすることもできます。

高度な土地利用の進んでいる今、都市地域での清掃施設の建設や、埋立処分場の確保が益々むずかしくなる中で、“ごみを出さない工夫”は、とても大切なことです。

住民の皆様、私達の快適な生活環境を守るため、今後とも清掃問題につきましては、より一層のご理解とご協力をお願いします。

ごみ処理量の推移

関係市の住民の皆様からこの1年間（昭和62年4月～63年3月）に出たごみの量は、燃やすごみ（可燃ごみ）が86,133トン（前年度比3.9%増）。燃やさないごみ（不燃ごみ）、粗大ごみ及び有害ごみは20,308トン（前年度比2.5%増）で合計106,441トン（前年度比3.6%増）になりました。

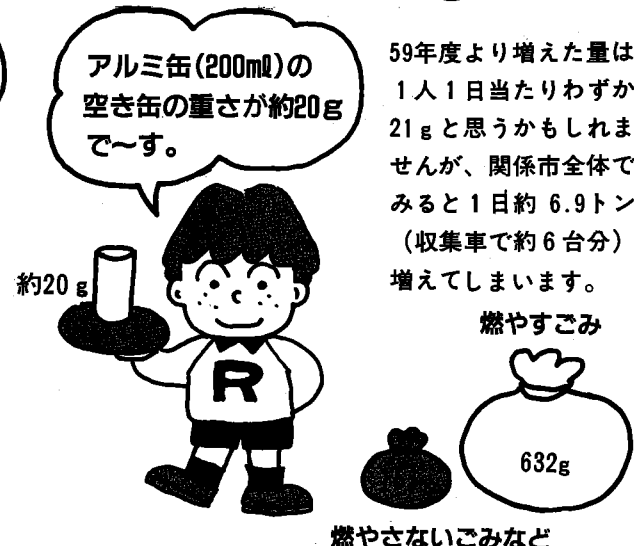
このように私たちの日常生活から排出されるごみの量は、年々増え続けております。

しかも生活形態が多様化するなかで、ごみの中味も複雑化し、その処理は年々難しくなっております。昭和62年度の組合への搬入量によりますと、1日当たりの搬出量は854g/人・日となっています。

1人当りのごみ量の推移

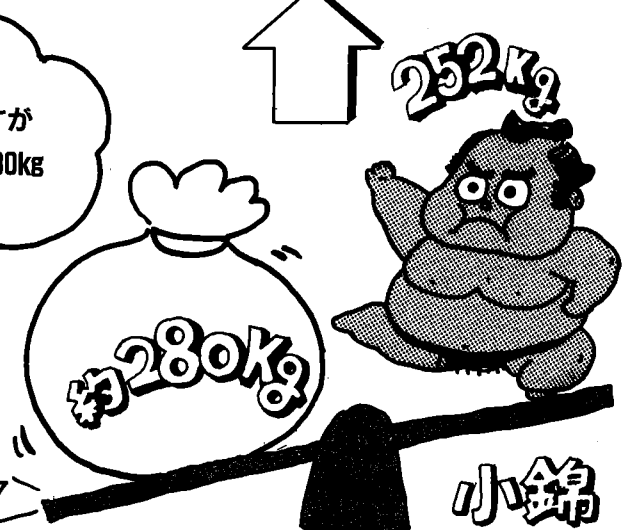
昭和58年度：人口326,456人
1人1日当たりのごみ量749g

昭和60年度：人口332,481人
1人1日当たりのごみ量787g



59年度より増えた量は1人1日当たりわずか21gと思うかもしれませんが、関係市全体でみると1日約6.9トン（収集車で約6台分）増えてしまいます。

昭和59年度：人口329,057人
1人1日当たりのごみ量766g



注：各年度の人口は毎年4月1日における関係市（田無市、保谷市、東久留米市及び清瀬市）の人口です。（ただし、外人登録は除く。）

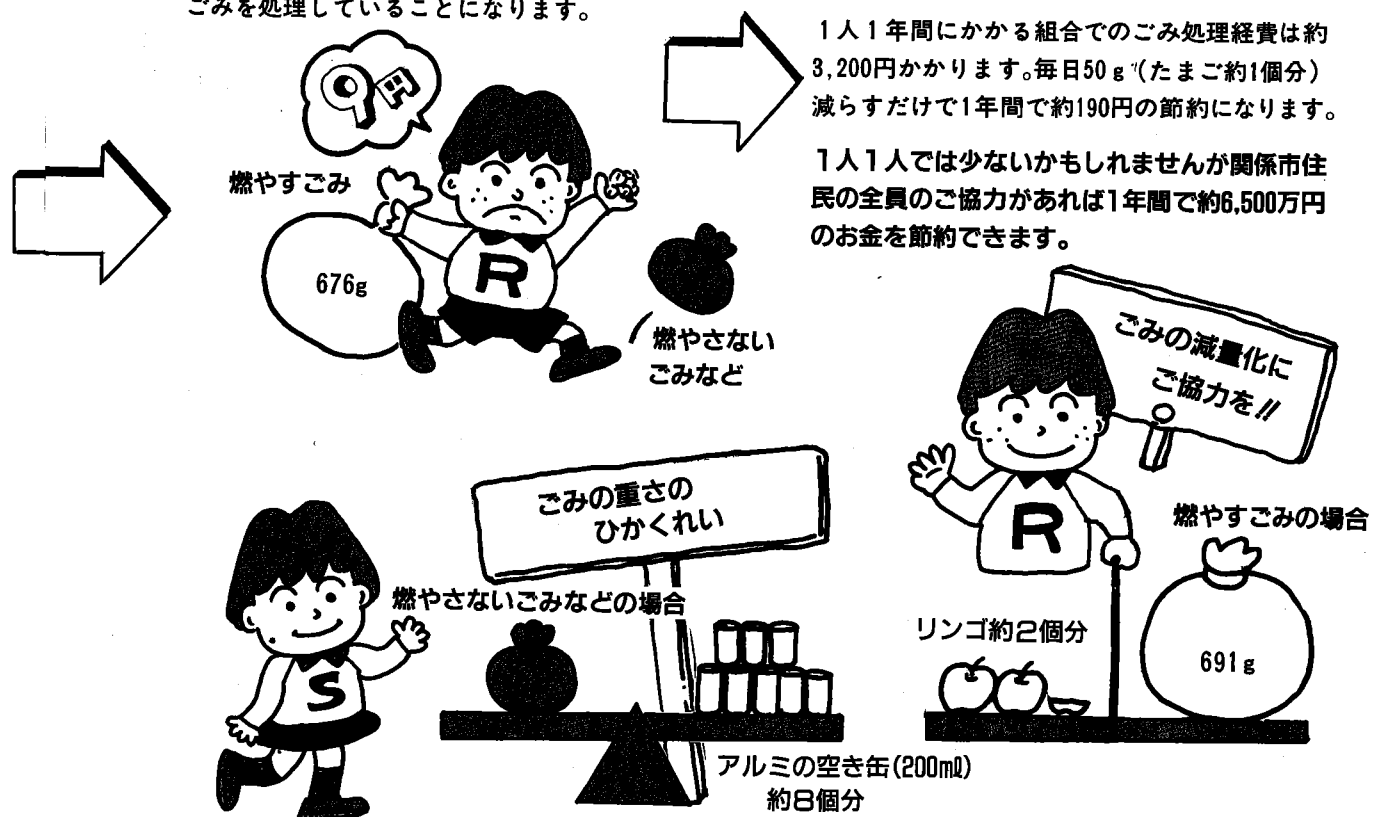
昭和61年度：人口336,026人
1人1日当たりのごみ量837g

組合の昭和61年度のごみ処理経費は10,467円/トンですから1人1日当たり毎日約9円かけてごみを処理していることになります。

昭和62年度：人口340,661人
1人1日当たりのごみ量854g

1人1年間にかかる組合でのごみ処理経費は約3,200円かかります。毎日50g（たまご約1個分）減らすだけで1年間で約190円の節約になります。

1人1人では少ないかもしれませんが関係市住民の全員のご協力があれば1年間で約6,500万円のお金を節約できます。



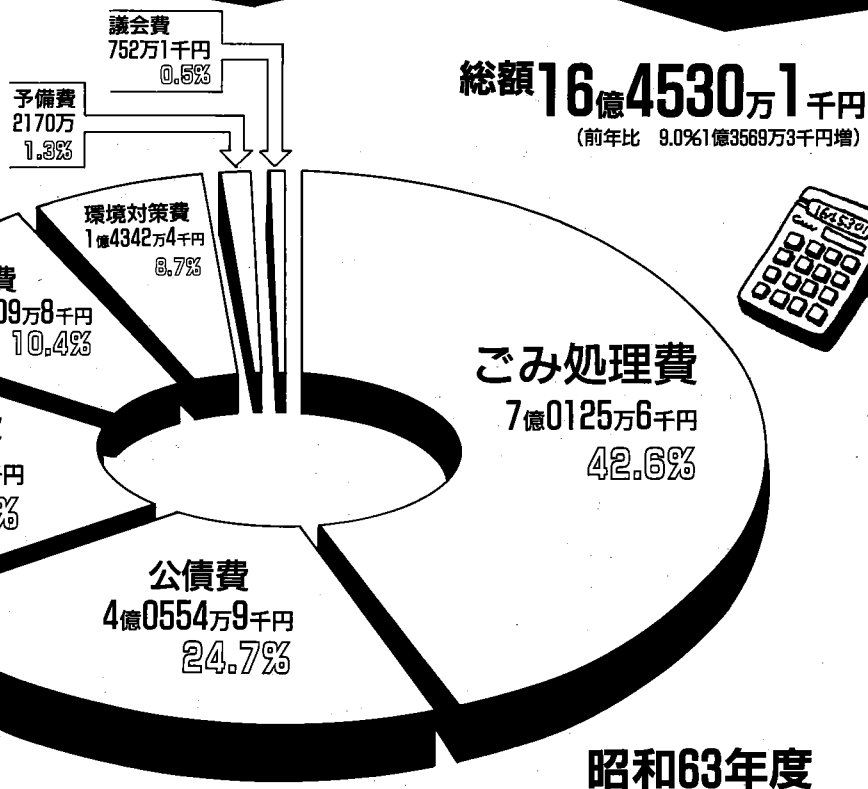
ごみ量の推移(組合への搬入量)

(単位：トン)

年 度	合 計 (a + b)	可 燃 ご み				不 燃 ご み 等				合計の 増加 指数
		計 (a)	内 訳		増加 指数	計 (b)	内 訳		増加 指数	
			公 車	私 車			公 車	私 車		
58	89,536	71,507	67,399	4,108	100	18,029	17,576	453	100	100
59	92,026	73,409	69,200	4,209	103	18,617	18,298	319	103	103
60	95,610	76,742	72,196	4,546	107	18,868	18,549	319	105	107
61	102,701	82,879	78,547	4,332	116	19,822	19,491	331	110	115
62	106,441	86,133	80,878	5,255	119	20,308	20,074	234	113	119

注1. 公車は、関係市で収集したもの。
注2. 私車は、関係市から発生したもので直接組合に搬入したもの。
注3. 増加指数は、58年度を100とする。

予算はこうして役立てています



63年度
予算です



昭和63年度一般会計予算が、3月定例議会の審議を経て、3月2日の本会議で決まりました。予算総額は16億4,530万1千円です。前年度当初予算に比べ、9.0%の増加です。その主な使い道は、次の通りです。

- 議会費
組合議会の運営経費、議員の報酬などに752万1千円。
- 総務費
組合での共通費、特別職・一般職の人員費、広報紙「柳泉園ニュース」の発行(年2回)、パンフレットの作成や会計事務に必要な経費などに1億7,109万8千円。
- ごみ処理費
ごみ処理施設第一工場(処理能力1日150トン)、第二工場(処理能力1日240トン)の運転を維持するための定期点検、改修費、電気代、薬品代及び灰の運搬の委託料並びに、粗大ごみ処理施設(燃やさないごみ、粗大ごみを破碎・選別)の運転に必要な経費や破碎機の補修や各機器の点検、破碎ごみ運搬の委託料などに7億125万6千円。
- し尿処理費
22年を経過した、し尿処理施設第一工場(処理能

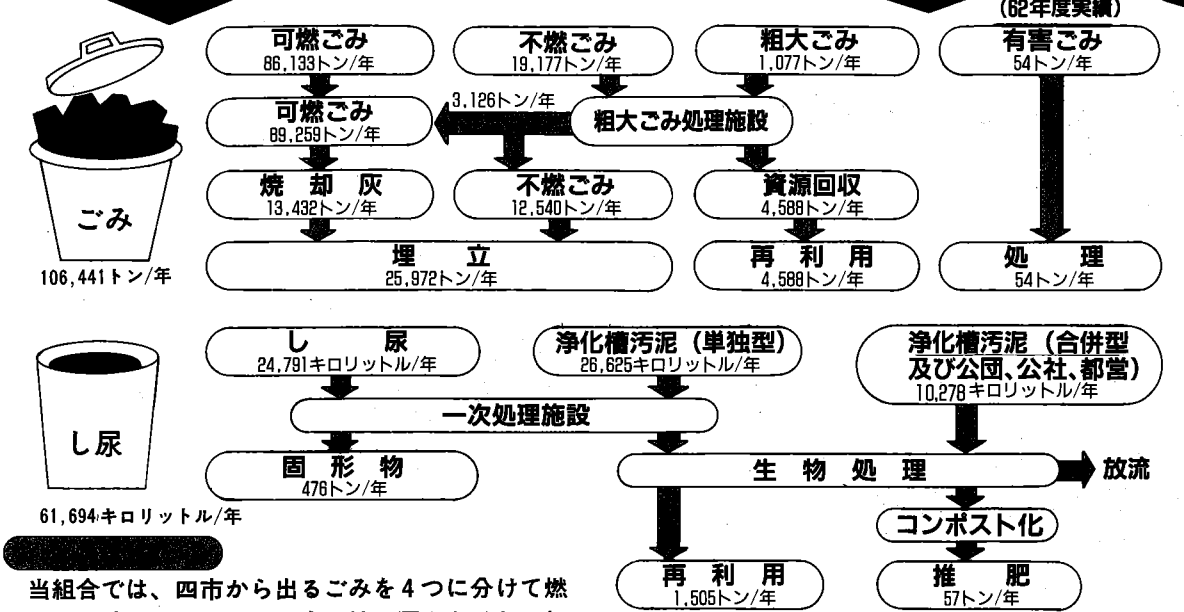
力1日200kl)を維持するための各機器の点検及び運転に必要な電気料、薬品などに1億9,475万3千円。

- 環境対策費
野球場、テニスコート、温水プールなど体育施設の維持管理費とごみ焼却、し尿処理において発生する大気、水などの分析に必要な経費などに1億4,342万4千円。
- 公債費
借入れ金の返済(元金分、利子分など)に4億554万9千円。
- 予備費として2,170万円。

(単位:千円)

款	金額
1. 分担金及び負担金	1,441,678
2. 使用料及び手数料	102,854
3. 財産収入	1,754
4. 繰入金	16,586
5. 繰越金	64,000
6. 諸収入	18,429
歳入合計	1,645,301

1年間のごみとし尿の処理量と流れ



当組合では、四市から出るごみを4つに分けて燃したり、破碎したり、埋め立て地へ運んだりして処理しており、前年度に比較して3.6%(3,740トン)の増となっております。

- 燃やすごみ
可燃ごみは、昭和62年度の実績で、1日約237トン(収集車で約198台分)を燃やしており、燃やしたあとの灰は約37トン出ます。(焼却日数は1年363日。)
- 燃やさないごみ
不燃ごみは、1日約66トン(処理日数1年で291日)を処理しますが、当組合ではこの中から資源物を回収し、残った不燃物類は、粗大ごみなどと一緒15cm以下に破碎したのちに、燃やしたあとの灰と同様に、日の出町にある廃棄物広域処分場に運び、埋め立て処分をしております。
- 粗大ごみ
家具や家電品などの粗大ごみは、日の出町の地元住民の皆様との協定によって、破碎し、資源物を回収したのちに均一にして廃棄物広域処分場に持ちこんでおります。
- 有害ごみ
当組合に搬入された乾電池・けい光管などの有害ごみは、組合で一時的保管後、北海道にある処理業者に処理委託をしております。

し尿及び浄化槽汚泥の処理量は、公共下水道の普及により年々減少しており前年度に比較して7.9%(5,284kl)の減となっております。

●昭和62年度の処理量(処理日数は366日/年)は、し尿で日量約68kl、単独型浄化槽汚泥で日量約73klあり、その他、余剰汚泥設備に直接持ち込まれる合

併型浄化槽汚泥及び公団、公社、都営住宅からの浄化槽汚泥が日量約28klあります。

●ごみ処理やし尿処理のごとは、自然(空気や水など)をよごさないよう注意をしながら行っております。

●再資源化 再資源化には次のようなメリットがあります。

- 省資源に役立ちます。
- 未利用の重要な国内資源である有用排出物を再び原材料として生産過程に投入すれば、処女資源の使用を削減し海外への資源依存度を軽減します。
- 有用排出物を原材料として製品を製造するエネルギー消費量は、処女資源から製品を製造する場合のそれと比べて一般的に少なく、省エネルギー効果が大きいです。

そして再資源化により廃棄物が減量化され、最終処分しなければならない廃棄物の量は減少します。ここで回収びんを利用した場合の省資源・省エネルギー効果をみると下記ようになります。

原料	一升びん	
	新しく作る	再使用
シリカ	520g	
ソーダ灰	156g	苛性ソーダ...2.5g
石灰	125g	水(洗びん用)...3.6ℓ
ガラスくず	380g	

エネルギー	一升びん	
	新しく作る	再使用
電力	227W/h	
ガス		
重油		
		16W/h
		0.012ℓ

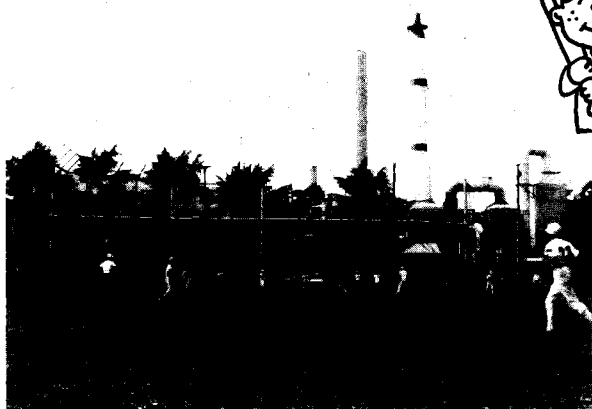
(財)クリーン・ジャパン・センター「リサイクル'85」より

enjoy sports

エンジョイスポーツ

野球場・テニス・プール

柳泉園のテニスコート、野球場、プールと
いったスペースで、気持ちの良い汗を流しま
せんか。電話一本で四市の方ならどなたでも
お気軽にご利用いただけます。



●野球場 4月1日～11月30日

●テニス 1月1日～12月31日

●プール 1月4日～12月28日

☎0424-73-3121

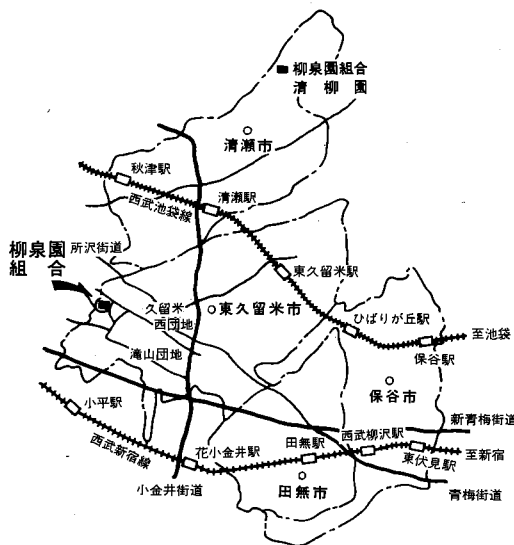
へ申し込んで下さい。

Message

組合からのお願い

- ①ごみは、できるだけ出さないように心がけて下さい。ごみを処理するには大変お金がかかるのです。当組合だけでも1トン処理するのに約6,500円かかり、処理の他に議会費、総務費、環境対策費、その他公害対策費用を加えると1トン処理するのに10,000円を超えてしまいます。ごみが少なくなるとこの費用を他の行政費用に回すことができます。
- ②ごみを出す時は、「燃やすごみ」「燃やさないごみ」に必ず分けて出すようにして下さい。このことを守っていただかないと施設を痛めたり、公害発生の要因ともなり、この防止等にも費用がかかります。
- ③スプレー缶・簡易ガスボンベ等は、内容物を十分出し切ったうえ、穴をあけてから出してください。なお穴をあける際には、屋外など火気等危険のない場所で行い、顔など身体にかからないように注意して下さい。
また、関係四市では有害ごみの分別回収をステーション収集方式、あるいは電気店等の拠点収集方式で市民の皆様をお願いします。これらの点についてより一層のご協力をお願いいたします。

ここが柳泉園です。



管内人口	(63.8.1現在)
世帯数	125,028世帯
人口	344,363人